

三原市立宮浦中学校 第2学年 音楽科学習指導案

題材名：歌詞の内容を味わい、曲想を生かした合唱表現を工夫しよう

指導者：三原市立宮浦中学校 山田 良一

- 1 日 時 : 平成29年10月 3日 (火) 第5校時
2 場 所 : 音楽室
3 学年・学級 : 第2学年3組 (男子14名, 女子17名, 計31名)
4 題材名 : 歌詞の内容を味わい、曲想を生かした合唱表現を工夫しよう
教材名 : 混声三部合唱「時の旅人」 深田じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

(1) 題材観(教材観)

本題材は、中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年の目標(2)「多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める」を受け、「A 表現」の内容(1)ア「歌詞の内容や曲想を味わい曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」ウ「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと」をねらいとして設定した。

本教材は、大きな3つの部分とコーダで作られている。23小節目までは、序の部分で時の旅人が回想へと導く部分である。24小節からは回想の部分で、途中からの転調を経て、それぞれのパートが、過去と未来への喜びを高らかに歌い上げる。そしてコーダは祈りの部分である。生きているうちにはさまざまなことに出会うが、自分を信じ、夢を持ち続け、感謝と祈りの心をもって生き抜いて欲しいという作者の願いがこの部分に込められている。また、全曲を通して、ユニゾン、ハーモニー、オブリガート、かけあいなどのさまざまな部分で構成されている。そして、強弱や速度の変化に富んだ曲であり、無理のない音域で旋律が作られているため歌いやすく、歌詞の内容も中学生の心情をとらえたものであり親しみやすい曲である。

○ 本教材で位置付ける〔共通事項〕

〔共通事項〕	本教材における学習内容
テクスチュア	音の重なり
構成	反復 ユニゾン かけあい
調	転調
強弱	声部の役割を生かした強弱

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒は、明るく素直で、意欲的に活動する生徒が多い。特に男子の数人は、変声も終わり声量十分で魅力的な声を出す。2年生になり取り組んだ「生命が羽ばたくとき」「語り合おう」では3声のハーモニーを感じながら、強弱の表現を広げるように工夫してきた。9月実施のアンケートで「合唱は好きですか。」の問いに、67%の生徒が肯定的に答えている。「合唱中、ハーモニーを感じたことがありますか。」では、同じく67%の生徒が肯定的に答えている。合唱する技量としてはかなり高い。その他、既習曲としては、「浜辺の歌」「花の街」「早春賦」などがあるが、まだ、十分には歌詞の内容を理解し、味わいながら表現させるところにまでには至らせなかった。同じくアンケートでは「歌詞の内容を理解して表現をしようとしていますか。」の問いに53%の生徒が肯定的には答えているが、約半数の生徒は否定的であった。「時の旅人」を教材として、「歌詞の内容を味わい、曲想を生かした合唱表現の工夫」に取り組ませていきたい。

(3) 指導観(指導改善のポイント)

本題材の目標「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫することができる。」「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら歌うことができる。」を達成するために、歌唱教材「時の旅人」を通して、次のような工夫をする。

- ① 「へ長調」で始まる冒頭から、時の旅人が回想する「ニ短調」、過去と未来への喜びを高らかに歌い上げる「ニ長調」、祈りの部分である「ト長調」。この転調と歌詞の内容を関連させながら感受させていく。
- ② ユニゾン、ハーモニー、オブリガート、かけ合いなど様々な部分において、部分的に分けながら曲の構成を理解させたい。また声部の役割を知り、様々な表現方法で歌わせてみながら、各パートに相応しい歌い方を見つけさせたい。

合唱は、一人一人の声の集まりであり、意欲的な声が集まればスケールの大きい合唱を作ることができ、また、一人一人の思いを伝え合うことで豊かな表現の合唱を創り上げることができる。一人一人が思いを込めながら合唱し、曲を仕上げた時の達成感をぜひ味わわせたい。

(4) 本題材において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】 ②表現力

・歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現ができる。

5 題材の目標と評価規準

題材の目標

- 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫することができる。
- 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら歌うことができる。

題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
○ 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、意欲的に歌ったり聞いたりしている。 ○ 声部の役割に関心を持ち、表現をすることに意欲的である。	○ 声部の役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫している。 ○ 歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割、全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。	○ 声部の役割を生かして表現をする技能を身につけている。 ○ 歌詞の内容や曲想を生かすための〔共通事項〕を知覚して、歌唱表現できる。

6 指導と評価の計画

全8時間 (本時は6/8)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	創	技	評 価 規 準	評価方法	資質・能力 (評価方法)
1 ・ 2	○ 「時の旅人」の範唱を聴き、作品全体の雰囲気を感じ取る。 ○ 歌詞の内容を理解する。 ○ 音程やリズムに留意して、正確に歌えるように、冒頭部分のパート練習をする。	○			○ 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、聴いている。 ◎ ○ 仲間と協力して、正しい音程で歌っている。	○観察 ○演奏聴取	
3 ・ 4	○ 音程やリズムに留意して、正確に歌えるように、中間部分のパート練習をする。	○			○ 声部の役割に関心を持ち、表現をすることに意欲的である。	○観察	
5	○ 音程やリズムに留意して、正確に歌えるように、曲の終わりまでパート練習をする。			○	○ 声部の役割を生かして表現をする技能を身につけている。	○演奏聴取	
6	○ 歌詞の内容や曲想を生かしながら歌唱表現をする。			○	○ 歌詞の内容や曲想を生かすための[共通事項]を知覚して、歌唱表現ができる。	○ワークシート ○演奏聴取	②表現力 (演奏聴取)
7	○ 音楽を構成している要素を知覚し、歌唱表現しながらそれらの働きを感じ取る。		◎		○ 声部の役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫している。 ○ 工夫した点についてふさわしい表現で歌唱している。	○発表 ○演奏聴取	
8	○ 歌詞の内容や曲想、全体の響きの調和を感じ取って合唱する。			○	○ 歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割、全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持って歌唱している。	○演奏聴取	②表現力 (演奏聴取)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

・歌詞の内容や曲想を生かしながら歌唱表現をする。

(2) 観点別評価規準

◎ 歌詞の内容や曲想を生かすための〔共通事項〕を知覚して、歌唱表現ができる。

評価方法：演奏聴取

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
②表現力	A 歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現を正確な音程でできる。 B 歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現ができる。 C 自分の思いを生かした歌唱表現ができる。

(4) 準備物

カラピアノ CD, パート別練習 CD, CD プレイヤー

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	<p>○篠笛を練習する。(常時活動)</p> <p>○発声練習を兼ねて既習曲を歌う。 (思い出は空に)</p> <p>○「時の旅人」を最後まで合唱する。 伴奏：カラピアノ (CD)</p> <p>○本時の目標を確認する。</p> <p style="text-align: center;">課題の設定</p>	<p>・音の出やすい3音(五六七)を中心に発音を繰り返す。 ◆音の出ない生徒への個別指導を行う。(アンブシュアの確認)</p> <p>・正確な音程で歌えているか留意する。 ◆正しく歌えていない場合はパート練習をする。</p>	
<p>【本時の目標】歌詞の内容や曲想を生かしながら歌唱表現をしよう。</p>			
展開	<p>○共通事項の確認をする。</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	<p>・直接楽譜へ記入, また, ワークシートへも記入させる。 (旋律の重なり, 転調, かけあい, 反復, ユニゾン, オブリガートなど)</p>	

展 開	<p>○ 共通事項をどのように生かすかパートで確認する。</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>○ 各パートリーダーが共通事項をどのように生かすか発表する。</p> <p>○ 共通事項を生かすためのパート練習をする。</p> <p style="text-align: center;">実行</p>	<p>・パートで話し合い，共通事項を生かす点 2 つ以上工夫させる。</p> <p>・各パートが工夫する点を板書させる。</p> <p>・各パート練習を見守る。</p> <p>◆まだ正確な音程で歌えない生徒へは隣で一緒に歌う。</p>	
	<p>【主体的に学んでいる姿】</p> <p>・パート練習の中で，お互いに気付きを交流し，より豊かな歌唱表現をしようとする姿。</p>		
ま と め	<p>○ 「時の旅人」を混声三部合唱する。</p> <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p> <p>○ 次時の予告</p>	<p>・2 回通す。1 回目はピアノ伴奏，2 回目はカラピアノで演奏聴取をする。</p> <p>・声部の役割を感じ取って，曲にふさわしい表現を工夫する。</p>	<p>○歌詞の内容や曲想を生かすための〔共通事項〕を知覚して，歌唱表現ができる。</p> <p>【演奏聴取】</p> <p>☆表現力</p> <p>歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現ができる。</p> <p>【演奏聴取】</p>

(6) 板書計画

【本時の目標】 歌詞の内容や曲想を生かしながら歌唱表現をしよう。

共通事項をどのように生かすか。

ソプラノ	アルト	バス
○	○	○
○	○	○
○	○	○